

資料3-1-1 阪神・淡路大震災の概要

阪神・淡路大震災について（確定報）

平成18年5月19日
消防庁

1 地震の概要（気象庁発表）

- (1) 発生年月日 平成7年(1995年)1月17日(火) 5時46分
(2) 地震名 平成7年(1995年)兵庫県南部地震
(3) 震央地名 淡路島(北緯34度36分、東経135度02分)
(4) 震源の深さ 16km
(5) 規模 マグニチュード7.3
(6) 各地の震度
震度7 注) のとおり
震度6 神戸、洲本
震度5 京都、彦根、豊岡
震度4 岐阜、四日市、上野、福井、敦賀、津、和歌山、姫路、舞鶴、大阪、高松、岡山、徳島、津山、多度津、鳥取、福山、高知、境、吳、奈良
震度3 山口、萩、尾鷲、伊良湖、富山、飯田、諏訪、金沢、潮岬、松江、米子、室戸岬、松山、広島、西郷、輪島、名古屋、大分
震度2 佐賀、三島、浜松、高山、伏木、河口湖、宇和島、宿毛、松本、御前崎、静岡、甲府、長野、横浜、熊本、日田、都城、軽井沢、高田、下関、宮崎、人吉
震度1 福岡、熊谷、東京、水戸、網代、浜田、新潟、足摺、宇都宮、前橋、小名浜、延岡、平戸、鹿児島、館山、千葉、秩父、阿蘇山、柿岡
- 注) 気象庁が地震機動観測班を派遣し現地調査を実施した結果、以下の地域は震度7であった。
神戸市須磨区鷹取・長田区大橋・兵庫区大開・中央区三宮・灘区六甲道・東灘区住吉、芦屋市芦屋駅付近、西宮市夙川等、宝塚市の一部、淡路島北部の北淡町、一宮町、津名町の一部
- (7) 津波 この地震による津波はなし

2 被害状況

- (1) 人的、物的被害等

人 的 被 害	死 者	6,434人	非 住 家	公共建物	1,579棟
	行方不明者	3人		その他の	40,917棟
	負傷者	10,683人	文教施設	1,875箇所	
	計	33,109人	道路	7,245箇所	
住 家 被 害	全 壊	43,792人	橋りょう	330箇所	
		104,906棟	河川	774箇所	
	半 壊	186,175箇所	崖くずれ	347箇所	
		144,274棟	ブロック塀等	2,468箇所	
	一部破損	274,182箇所	水道断水	約130万戸	
		390,506棟	ガス供給停止	約86万戸	
	合 計	639,686棟	停電	約260万戸	
			電話不通	30万回線超	

※厚生省調べ

※資源エネルギー庁調べ

※資源エネルギー庁調べ

※郵政省調べ

※水道断水、ガス供給停止、停電、電話不通については、ピーク時の数である。

(2) 火災

出火件数				焼損床面積
建物火災	車両火災	その他火災	合計	
269件	9件	15件	293件	835, 858m ²

用途等 焼損区分	兵庫県	兵庫県以外			計	
		住家	非住家			
			公共建物	その他		
全焼	7, 035棟	1棟	0棟	0棟	7, 036棟	
半焼	89棟	5棟	0棟	2棟	96棟	
部分焼	313棟	8棟	2棟	10棟	333棟	
ぼや	97棟	6棟	1棟	5棟	109棟	
合計	7, 534棟	20棟	3棟	17棟	7, 574棟	

※兵庫県の住家・非住家の別については不明

り災世帯				
兵庫県	兵庫県以外			計
	全損	半損	小損	
8, 908世帯	16世帯	6世帯	39世帯	8, 969世帯

※兵庫県の全損・半損・小損の別については不明

凡例

街区別被害率

(建築面積)

- 5%～10%
- 10～30%
- 20～50%
- 50%～80%
- 80%以上

出典:建設省建築研究所「平成7年兵庫県南部地震被害調査最終報告書」(平成8年3月)

この地図は、建設省建築研究所が建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図10000(総合)を複製したCD-ROMデータに基づいて作成したものである。(承認番号 平8総複、第26号)。

